

経営比較分析表

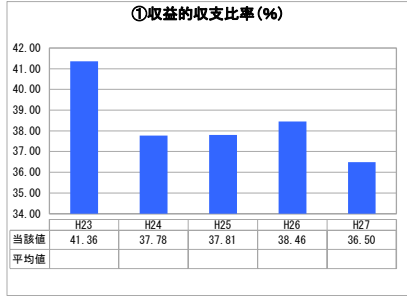
北海道 天塩町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	75.90	97.08	4,000

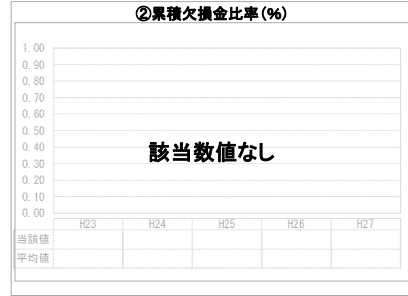
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,272	353.56	9.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,459	1.48	1,661.49

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成27年度全国平均

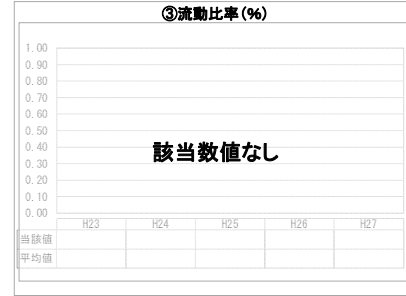
1. 経営の健全性・効率性



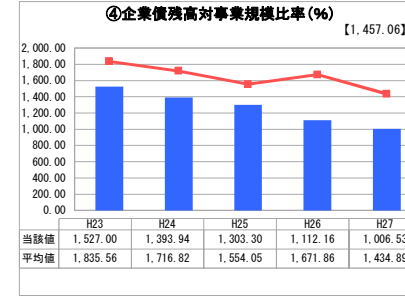
「単年度の収支」



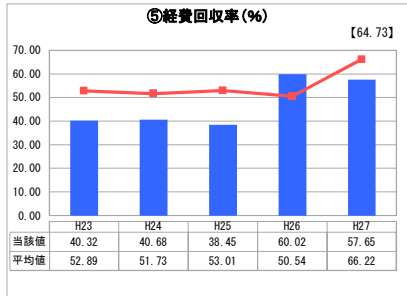
「累積欠損」



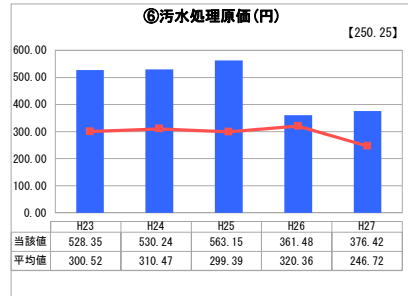
「支払能力」



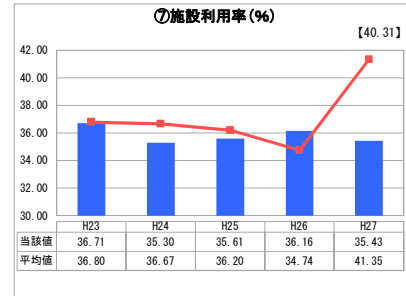
「債務残高」



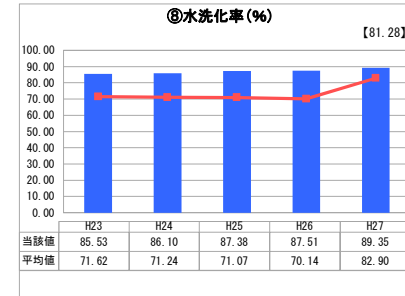
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

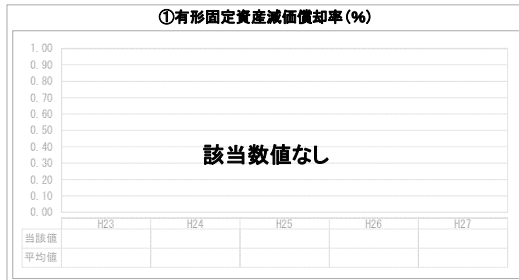


「施設の効率性」

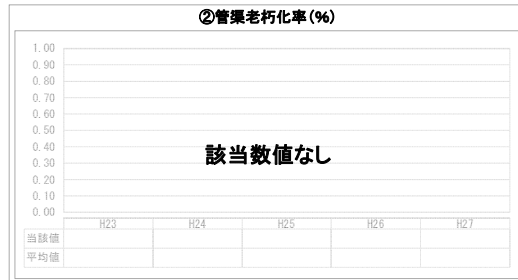


「使用料対象の捕捉」

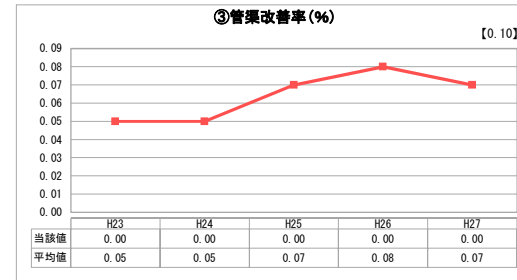
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 現在収益的収支比率は料金収入、総費用の増減により比率は増減すると思われる。
- 27年度より処理場の機器等の更新を行っていることから、今後増加していく見込みである。
- 26年度より償還金元金に対する繰入金の一部を基準内繰入金として計上したため、類似団体平均を上回った。今後同水準で推移していく見込みである。
- 26年度より償還金元金に対する繰入金の一部を基準内繰入金として計上したため、汚水処理原価は減少したが、類似団体平均を上回る数値であるため、今後使用料の改定を検討する必要があると考えられる。
- 27年度では類似団体平均より下回る数値のため、引き続き下水道未接続家屋の使用者に対して声掛けを行っていく。
- 類似団体平均を上回る数値であり、今後も継続していく。

2. 老朽化の状況について

- 供用開始が平成12年度と比較的新しいため、今後対応年数をみて検討・計画する。

全体総括

現在、使用料以外の収入がなければ経営が成り立たない現状であり、将来的には使用料の改定を検討する必要があると考えられる。また、今後も処理場の機器等の更新があることから、より健全で効率的な運営をしていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。